



江東区立明治小学校

住所 〒135-0033 江東区深川2-17-26
電話 03-3641-0550
FAX 03-3820-9141



校長 喜多 好一
副校長 有働 大悟郎
教職員数 43名

(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	125	130	119	122	155	160	811
学級数	4	4	4	4	5	5	26



◇交通案内図



◇交通機関

- 東京メトロ東西線 都営地下鉄大江戸線
「門前仲町駅」下車 徒歩7分
- 東京メトロ半蔵門線 都営地下鉄大江戸線
「清澄白河駅」下車 徒歩9分
- 都バス「東22」 都バス「都07」
「門前仲町」下車 徒歩7分
- 都バス「門33」
「深川二丁目」下車 徒歩2分

伝統を引き継ぎ、新たな歴史を創る～開校154年～

教育理念「はじめにこどもありき」

どの子ども大切にする教育の推進

「どの子ども安心して過ごすことができる学校」
「みんなが主人公! めいじのこになる学校」



教育目標

めあてを
もつ子

いっしょに
取り組む子

じぶんで
考える子

こころと
からだを
高める子

- ・個々のめあての設定
- ・見通しをもつ学習計画の作成
- ・振り返りを書く時間の設定
- ・最後までやり抜く意志の重視
- ・形成的評価の重視



- ・対話的な学びを通じた自己調整力の向上
- ・温かく居場所のある学級経営の実現
- ・一人一人の自尊感情の育成
- ・国語科の話す・聞く、特別活動(1)(2)の話し活動の充実
- ・共に取り組む楽しさ、共にやり遂げる達成感



- ・語彙を増やし言語化を図る
- ・考えの視覚化を促す思考ツール、クロームブックの活用
- ・ノー原稿、適切な声量で伝える
- ・考えを選択、決定、表現する力の向上
- ・他者を意識し、根拠をもって説明する力の向上



- ・体づくり運動等の体育朝会
- ・「体力アップ週間」の充実
- ・筋持久力を高める取組
- ・食育に関わる活動の充実
- ・睡眠の大切さ「眠育」の推進
- ・歯科保健教育の推進



「チーム明治小」

- 全教職員が互いに支え合いながら協働する強い組織
- 明治小の不易を大切にしながら、新たな教育改革に挑戦する教員
- 確かな児童理解を踏まえ、こどもの声を聴き、寄り添う教員
- R8・9年度江東区研究協力校としての研究の推進
- 「こどもが主語になる協働的な学びの追究」～国語科「話すこと・聞くこと」を基盤とした言語能力の育成～」
- 「明治小授業スタイル」の実施
- こどもの範となる「笑顔、時、場、礼儀」の率先垂範
- 人権感覚の醸成と教育公務員としての服務の厳正
- 教職員の働き方改革の推進

「チーム明治小」
～わが子を安心して託せる学校～
保護者会・明治小PTA

「チーム明治小」
～地域とともに歩む学校～
・学校評議員会・地域学校協働本部・地域懇談会・明治友の会・明治同窓会・明朋会

江東区立深川小学校

住所 〒135-0005 江東区高橋14-10

電話 03-3631-2209

FAX 03-3631-3160

URL <http://fukagawa-sho.koto.ed.jp>

校長 川辺 章絵

副校長 菅 彰

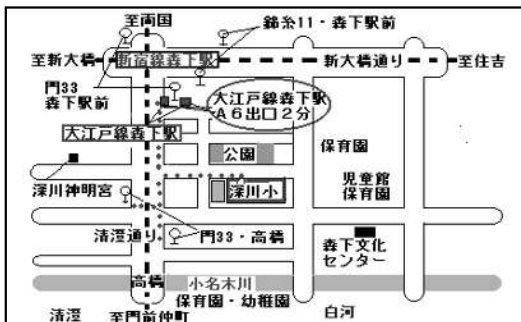
教職員数 20名



(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	54	69	46	71	53	60	353
学級数	2	2	2	2	2	2	12

◇ 学校案内図



◇ 交通機関

◆都営新宿線・都営大江戸線◆

「森下駅」下車 徒歩3分

◆都営大江戸線◆

「清澄白河駅」下車 徒歩5分

◆都営バス◆

門33<豊海水産埠頭・亀戸線>

「森下駅前」 徒歩5分

「高橋」 徒歩3分

錦11<築地・錦糸町線>

「森下駅前」 徒歩5分

◇ 教育目標

(ふ)・・・深く考え ともに学び

(か)・・・輝く笑顔で 思いやる

(が)・・・がんばる気持ち いっぱいの

(わ)・・・私たち 元気な深川っ子

開校 153 年
歴史と伝統



公式キャラクター「フカッキー」

スローガン

開校 153 周年「あなたも私も、互いのよさが輝く学校」

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）として、学校・PTA・地域等がより一層連携・協力して、元気な深川っ子を育てます！

知【学力の定着】

☆「主体的・対話的で深い学び」

- ・問題解決的な学習過程「深川学習スタイル」の定着
- ・児童が身に付けたい力を意識した単元計画
- ・主体的な学びにつながる振り返りの工夫
- ・探究型の学習の継続（チャレンジウエズデー展示会）
- ☆思考力・判断力・表現力を支える知識・技能の定着
- ・学び方SDの徹底・朝学習、俳句学習の組織的な取組
- ・読書活動の充実（朝読書、読み聞かせ、読書推進週間）
- ☆個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ・ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学び
- ・深い学びに向けた、協働的な学びの充実
- ☆児童の学力向上を目指した授業改善の継続
- ・校内研究と校内OJTの連携による教員の指導力向上
- ・国語科「書くこと」の指導を通じた、児童の表現力の向上

徳【豊かな心の育成】

☆心を育てる人権教育の推進

- ・全教育活動を通じた児童主体の取組
- ☆居場所のある学級・学年・学校づくり
- ・クラス遊び、係活動、朝の会、学校行事を通じた相互理解
- ☆異学年交流を軸とした教育活動の充実
- ・にこにこ班活動、読み聞かせ、学習交流、挨拶運動
- ☆地域や様々な立場の人とのかかわりを通じた豊かな心の醸成
- ・地域の公共機関や施設、商店、近隣学校園との連携
- ・系統的な総合的な学習の時間の充実・深川SDGs
- ☆学校2020レガシー
- ・パラ競技体験、デフスポーツ交流、異文化の方との交流

体【体力の向上】

☆体育授業の充実

- ・学習のゴールイメージと見通しがもてる単元展開
- ・指導内容に準拠した効果的なわくわくタイム
- ・めあてに応じた振り返りと言語活動の充実

☆運動の日常化の促進

- ・体力向上推進期間（投、跳、走）の取組
- ・週1回のウキウキタイム、深川っ子タイム
- ・コーディネーショントレーニングによる体力向上
- ・外部講師活用による体験

☆「安心・安全・健康」の教育活動の推進

- ・交通安全教室、多様な避難訓練等の充実
- ・セーフティ教室
- ・地域安全マップの作成
- ・SNSルールの定着
- ・アレルギー指導、歯っぴーカード、がん教育

江東区立八名川小学校

住所 〒135-0007 江東区新大橋3-1-15

電話 03-3631-2260

FAX 03-3631-3127

URL <https://yanagawa-sho.koto.ed.jp/>

校長 木村 文彦

副校長 青柳 尚透

教職員数 20名

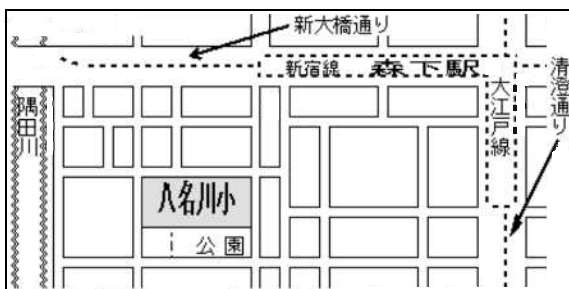
(5月1日現在)



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	55	44	57	62	59	59	336
学級数	2	2	2	2	2	2	12

交通機関

- ◆都営地下鉄新宿線・大江戸線
「森下駅」下車A1出口 徒歩3分
- ◆都営バス
「森下」または「高橋」下車 徒歩5分



俳句づくり



芭蕉の住んでいたこの地で俳句づくりに取り組んでいます。
日常的に俳句を作ること「ものの見方」「言語感覚」を育てます。

ユネスコ スクール



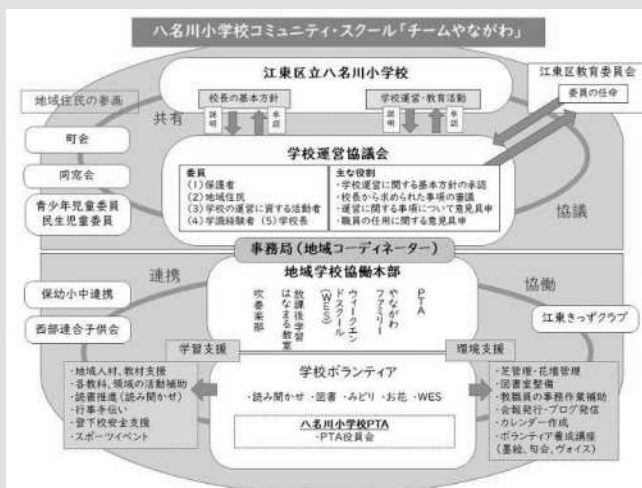
ユネスコスクールとして、持続可能な社会の創り手となる子どもを育てます。
また、世界市民として人や地域との関わりを大切に、共に考え、学びを深めています。

コミュニティ・スクール チームやながわ

八名川小学校は江東区初のコミュニティ・スクールです。

「地域全てを学びのフィールド」として、持続可能な地域社会を担う子どもを、育成しています。

地域の方々に見守られ、安心・安全で、笑顔あふれる学校づくりを地域一丸となってすすめています。



学校運営協議会を中心として、子どもをいろいろな目線で見守ります。「読み聞かせ」「お花」「WES(ウィークエンド・スクール)」など、地域やPTAの方によるボランティア活動も、子どもたちの豊かな育ちを支えています。



江東区立臨海小学校

住所 〒135-0048 江東区門前仲町1-1-6

電話 03-3641-0403

FAX 03-3820-1985

URL <https://rinkai-sho.koto.ed.jp>

校長 羽藤 めぐみ

副校長 眞舘 良晴

教職員数 23 名

(5月1日現在)

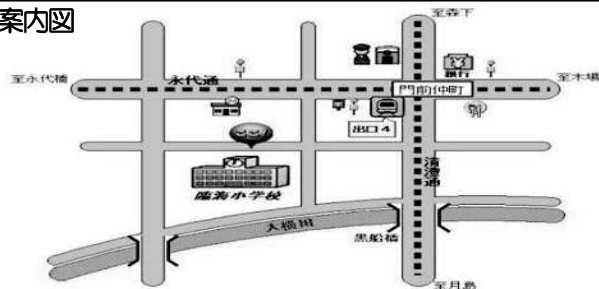


◇ 明治38年開校 (今年度開校121周年)



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	35	55	44	61	52	60	307
学級数	1	2	2	2	2	2	11

◇交通案内図



◇交通機関

- ◆東京メトロ東西線 ◆都営地下鉄大江戸線
「門前仲町駅」下車 徒歩4分
- ◆都営バス
「門前仲町」下車 徒歩4分
都07・海01・門19
門21・門33・東22 系統

令和7・8年度 江東区教育委員会 研究協力校 令和8年度江東区教育委員会 ICT 推進校
令和8年度関東地区小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会 東京大会



こどもの 保護者の 地域の 教職員の
笑顔あふれる学校
～ウェルビーイングからエージェンシーへ～

令和8年度
臨海小テーマ

「自分から つながって 自分らしく前向きに」

自ら考え主体的に学ぶこども

- ・「りんかいスタイル学習」(思考の可視化×学び合い)の展開
- ・ICTを思考ツールとして活用した教育活動
- ・生活科・総合的な学習の時間を中心とした探究学習
- ・チャレンジウエンスデーを中心とした家庭学習
- ・オンライン朝会「りんかいチャレンジ」
- ・特別支援の視点に立った個の学びに立った指導

(よく考える子) ... 自分から

授業改善・評価の充実
学びスタンダード
個別最適・協働的な学び
教科担任制・交換授業
読書活動の推進



つながりを大切にすることも

- ・気持ちの届く挨拶の励行「あいさつがんばりデー」
- ・話し合いを大切にしたいを認め合う学級経営
- ・体験活動や地域を生かした活動の充実
- ・異学年、異年齢などの交流活動の充実
- ・ひまわり教室との連携による多様性を認め合う児童の育成
- ・地域との協働的な学びの質的向上→新たな価値の創造
- ・3つの0!「いじめ見逃し0」「不登校0」「服務事故0」

(思いやりのある子) ... つながって

50年以上の歴史を誇る6年生全児童による鼓笛隊の活動

縦割り班活動
人権教育 挨拶運動
「深川音頭」の継承
校内委員会の充実
地域体験学習



自分らしくのびやかに活動することも

(しょうぶな子 / がんばる子) ... 自分らしく前向きに

- ・「遊び」を大切にしたい体づくり
- ・「自分らしさ」を意識できる取組
- ・「前向きに」チャレンジできる機会の充実
- ・保健指導、食育授業の充実
- ・地域と連携した防災体験学習
- ・自分なりの表現方法を大切にしたい活動

体力向上月間の取組
わくわくタイム
りんかいタイムの取組
学校2020レガシー
防災体験学習



令和 8 年 12 月～令和 10 年 7 月に校舎等の改修工事が予定されています。
工事期間中は、令和 10 年 7 月まで仮校舎（旧南砂西小：南砂 2-3-13）で授業を行う予定です。通学は、バス通学となる予定です。
※工事期間は、現時点での想定工事期間になります。計画内容や関係法令等改正に伴い、工期が変更になる場合があります。

江東区立越中島小学校

住 所 〒135-0044 江東区越中島 3-6-38
電 話 03-3643-9650
FAX 03-3642-5496



校 長 大木 直之
副 校 長 檜本 泉
教職員数 30 名

5 月 1 日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計
児 童 数	80	79	92	92	95	74	512
学 級 数	3	3	3	3	3	3	18



教 育 目 標

- ◎ 進んで学ぶ子ども
- 明るい健康な子ども
- 思いやりのある子ども
- 責任をもって最後までやりぬく子ども

★ 目指す学校像

チャレンジ意欲を高め、成長と飛躍の姿が光る学校

～こどもが主人公！自ら越中島小をデザインするかもめっ子～

- ◎目標に向かってチャレンジする子
- 当たり前を当たり前にする子
- 友達のよさを認める子
- 自己有用感・自己肯定感が高い子

☆特色ある教育活動

○心と知力を鍛える

- 「こうとう学びスタンダード（ネクストステージ）」…確かな学力の定着
 - ◇問題解決型の学習を展開する「越中島小学校授業スタイル」
 - ◇クラウド環境下のデジタル学習
 - ◇低学年からの少人数指導（主に算数科）
 - ◇高学年における教科担任制の推進
 - ◇副担任制の導入
 - ◇主体的・対話的で深い学びの実装
 - ◇校内研究「こどもが主人公！自ら学びをデザインするかもめっ子～つながりの中で個が豊かに学ぶ力を伸ばす授業改善～」
- 「読書の学校」……………読書の楽しさを味わうとともに、習慣化を図り、言語力を高めます。
 - ◇朝の 15 分間読書
 - ◇親子読書週間
 - ◇読み聞かせ（ショート・ロング）
- 「俳句の学校」……………年間を通して日本語の美しさに触れたり俳句を詠み合ったりします。
 - ◇感性や言語感覚を磨く俳句作りの推進
 - ◇俳句タイム
 - ◇コンクール
 - ◇俳句手帳

○心と自然や文化、地域と触れ合う力を育てる

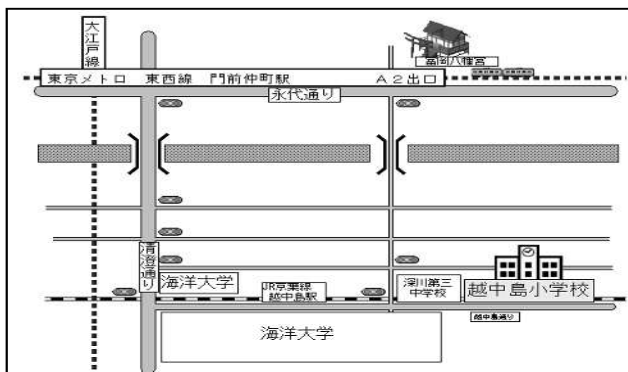
- 「緑の学校」……………エコスペースを活用した体験、ナチュラリスト等を招聘した学習により、環境教育とともに豊かな感性を育てます。
- 「かもめプロジェクト」…スポーツや文化について理解を深め、主体的態度を育てます。
- 「なかよし学校」……………異学年交流を通し、協力や思いやりの心、温かい人間関係を育みます。
- 「あいさつ学校」……………あいさつの大切さを実感させ、思いやりや社会性を育みます。

○健康・体を鍛える

- 「なわとび学校」……………年間を通して主体的に運動に親しむ習慣づくりと体力の向上を図ります。
 - ◇縄跳び大会
 - ◇縄跳びタイムやペア学年による教え合いを実施します。

◇ P T A 活動

- ☆楽しい「かもめまつり」「校庭開放」「校舎さよならイベント」等を開催。
- ☆図書・花壇・芝生の各サポーターなど、地域学校協働本部と連携した多彩なボランティア活動。
- ☆広報誌「かもめ」を発行。



◇ 交通機関

- ◆「門前仲町」（東西線・大江戸線）…徒歩 15 分
- ◆「都立三商前」（都バス 海 01 門 19）…徒歩 1 分
- ◆「越中島」（京葉線）…徒歩 8 分

江東区立数矢小学校

住所 〒135-0047 江東区富岡1-18-7

電話 03-3642-0476

FAX 03-3642-5789

URL <https://kazuya-sho.koto.ed.jp>

校長 澤田 純二

副校長 和田 直己

教職員数 40名

(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
児童数	113	126	128	148	149	120	0	784
学級数	4	4	4	5	5	4	0	26



1 開校：大正2年（1913年）

天保14年（1843年）の「御江戸大繪圖」にも見ることができる三十三間堂。その由緒深い跡地、数矢町に、本校は大正2年4月に開校した。地域に支えられ114年目を迎える歴史と伝統のある学校である。

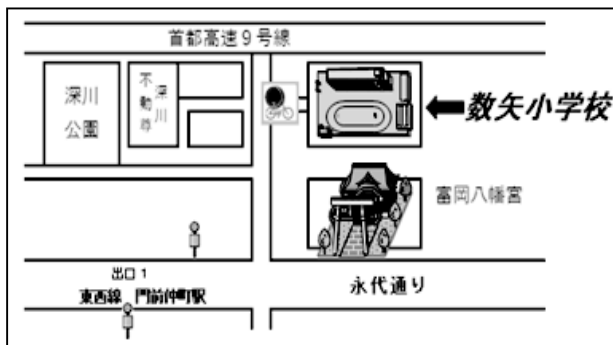
2 学区域と地域の特徴

「人情と信仰の町」「材木と粋の町」「文化と憩いの町」
富岡 門前仲町 深川 古石場 牡丹町 木場 冬木等

3 教育目標（教育目標を江戸文字で表記し、教室内に掲示）

人や自然との関わりの中で、未来を拓くための資質や能力を育み、共に支え、共に生き、将来に夢や希望を抱きながら生活できる児童の育成を目指し、次の目標を設定する。

○たくましい子 ○響き合える子 ○よく考える子



東京メトロ東西線 門前仲町駅下車 出口1 徒歩5分
都営大江戸線 門前仲町駅下車 出口6 徒歩5分
都バス 都07、東20、東22 不動尊前 下車 徒歩4分

4 教育目標達成のための重点

たくましい子を育てる

- 自己肯定感とストレス耐性を高める学習
- キャリア教育の推進
- 安全教育の推進
- 体育科授業の充実
- スポーツライフの実現

響き合える子を育てる

- 人権教育の充実
- 全力で取り組み、充実感を高める活動
- 考え議論する道徳の工夫
- いじめの未然防止、早期発見、早期対応
- 多様性を認める心のレガシー

よく考える子を育てる

- 知恵を働かせて問題解決力の向上
- 自ら学びを調整する力の向上
- 基礎的・基本的な知識・技能と定着率の向上
- 言語活動を重視・対話的な学習と表現力

特色ある教育活動

コミュニティ・スクールとして ～かずやSDGs～

ねらい

6年間を通して地域学習を進め、SDGsを目標とし、持続可能な地域社会をつくる資質能力の基礎を培い、地域を愛し、地域を誇りに思う児童を育てる。

学習の内容

- ・地域教材・人材開発
「人情と信仰の町」
「材木と粋の町」
「文化と憩いの町」
- ・SDGsを日常化
国際デーの紹介等

学習の方法

- ・探究学習とICT活用
- ・各学年年間一実践
- ・学習発表会で発表

地域連携部

- ・実践計画
- ・日常化推進
- ・学習発表会運営

CSかずや応援団の活用

江東区立平久小学校

住 所 〒135-0042 江東区木場 1-2-2

電 話 03-3644-0374

FAX 03-5690-4012

校 長 金岡 香恵

副 校 長 大森 和彦

教職員数 42名

(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
児 童 数	80	99	110	122	109	116	36	672
学 級 数	3	3	4	4	4	4	5	27



開校 98 周年 「笑顔あふれる小学校」～みんな、かがやく！～の実現をめざして

教 育 目 標

○自ら学ぶ子

○心豊かな子

◎たくましい子



- 児童にとって「笑顔あふれる学校」
- 保護者にとって「わが子を安心して託せる学校」
- 地域にとって「地域と共に歩む学校」
- 教職員にとって「こどもの成長を共に喜べる学校」

「自ら学ぶ子」の育成

- 「平久小学習スタイル」による授業の実施
- こうとう学びスタンダード(ネクストステージ)の定着
- 一人一台端末を積極的に活用した授業実践
- 思考力・判断力・表現力の育成
 - ・主体的な学びを実感するための活動の重視
- 言語活動の充実
 - ・俳句づくり、句会の実施
- 校内研究の充実

「心豊かな子」の育成

- 併設平久幼稚園との交流
 - ・読み聞かせ(5年生など)
- 人権尊重教育の推進
- こども主体のいじめ防止対策の充実
- 別室指導「へきゅりんルーム」による不登校の未然防止に向けた取組の充実
- 異学年たてわり班活動
 - ・たてわり班遊び
 - ・学校体験(1年生)
- 地域学校協働本部による読み聞かせ

「たくましい子」の育成

- 体力向上に向けた取組の実施
 - ・「運動が楽しい」と思える体育の充実
 - ・体育集会、わくわくタイムの充実
 - ・KOTO☆長なわチャレンジ、持久走週間の設定
- 東京 2020 レガシーの取組
 - ・ボッチャを活用した交流
- 「アウトメディアデー」(毎月 11 日)
- 表現活動の充実

特色ある教育活動



○花の平久
47年目を迎えた菊作り。全学年で取り組みます。

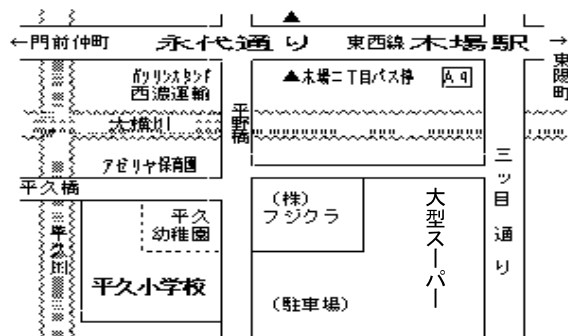


○下駄づくり
6年生の手作り下駄を日光移動教室で活用します。

○卒業式に向けた
作詞作曲

○地域学校協働本部・PTA
・企業・施設との連携 他

◇アクセス



- ◆東京メトロ東西線
「木場駅」下車 [A4]出口より 徒歩7分
- ◆都営バス『東22』『都07』
「木場二丁目」下車 徒歩5分

江東区立東陽小学校

住所 〒135-0016 江東区東陽3-27-12

電話 03-3644-0406

FAX 03-5690-4013

URL <https://toyo-sho.koto.ed.jp>

校長 安田 照雄

副校長 梅津 ちひろ

教職員数 38 名

(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
児童数	89	99	95	97	109	89	25	603
学級数	3	3	3	3	4	3	4	23



◇交通案内図◇



《交通機関》

- ◆ 東京メトロ東西線
「東陽町駅」下車 1番出口 徒歩4分
- ◆ 都営バス 東22・都07・門21系統
「東陽町駅前」下車 徒歩4分



校章の由来



東からのぼる朝日を東陽の陽の字の
周りにデザインしたもの。
太陽のように、すべてに積極的で
あれと願ったものと思われる。

◇教育目標◇



- ◎ よく考え 進んで実行する子
- 豊かな心をもち 仲よく助け合う子
- 健康で ねばり強い子

◇沿革◇ (開校126年 開校記念日10月11日)

本校は明治33年6月18日、校名を東陽尋常小学校として、深川区西平井町19番地(現東陽三丁目21番付近)に開校しました。戦後、校名が東陽小学校となり、昭和42年の東西線の開通とともに児童数が急増し、昭和50年には南陽小学校が開校し、一部の児童が移りました。本校は今年で126年目を迎え、歴史と伝統を保ちつつ新しい時代にふさわしい教育を進めています。

広げよう 笑顔の輪

みんなでつくる「笑顔」あふれる学校

- ☆豊かな心をもち、仲良く助け合う子
- ☆健康でねばり強い子
- ☆よく考えて実行する子

【知】

確かな学力の向上(東陽スタイル)
「!」「?」を原動力に、ICT活用や
教科担任制、調べる学習コンクール
出品などを通じて主体的な学びを構
築します。

【体】

健康・体力の増進

ボッチャ大会やダンスアカデミー、
規則正しい生活習慣により、たくま
しい体をつくります。

【徳】

豊かな情操の涵養

あいさつの励行やAction24(いじ
め防止)、ペア学年交流、こども
の権利尊重で、互いを認め合う心
を育てます。

【絆】

保護者・地域との連携

SUNSUN 東陽応援団や保護者ボラ
ンティアによる読み聞かせ、積極的
な情報発信(各学年HP月3回更新)
により、保護者・地域と一体になっ
た学校をつくります。



東陽小キャラクター 東陽太陽くん

江東区立南陽小学校

住 所 〒135-0016 江東区東陽 2-1-20
 電 話 03-3649-3461 03-3649-3464 (ことば・きこえ)
 F A X 03-5690-4014

校 長 市川 修
 副 校 長 中込 圭

教職員数 46 名 (5 月 1 日 現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	こき
児 童 数	145	127	163	145	139	138	857	50
学 級 数	5	4	5	5	4	4	27	4



◇交通案内図



◇交通機関

- 東京メトロ東西線東陽町駅
出口 2 から徒歩 5 分
- 都営バス
都 07・東 22・門 21 系統 錦 13 系統
「東陽操車所前」 「東陽 1 丁目」



〈校章の由来〉

南の太陽の暖かい光を受け、児童・地域が、健やかに、成長・発展するよう願いが込められています。

〈沿革〉

開校 52 周年 開校記念日 6 月 16 日
 東陽小学校の児童増加により兄弟校として分割され、昭和 50 年 4 月 1 日、557 名の児童とともに開校しました。

学校の教育目標

進んで学ぶ子【知：賢さ】

○主体的・対話的で深い学びを実現する子

「基礎基本の定着と学ぶ意欲の向上」 「個に応じた指導の充実」



- ・ICT 教育の推進
- ・「こうとう学びスタンダード」の定着
- ・日々の授業改善



- ・算数科のコース別学習の実施
- ・学びスタンダード強化講師を活用した少人数、TT 指導の充実

「学習の習慣化」



- ・学年×10分の家庭学習
- ・「朝学習」における習熟学習の充実

「多様な学習機会の確保」



- ・地域や講師や外部機関による体験活動の充実
- ・保・幼・小・中の連携

思いやりのある子【徳：優しさ】

○自分や周りの人を大切にする子

○「人として」あるべき姿を体現する子

「挨拶指導の徹底」



- ・登下校、校内外のあいさつを推進
- ・全教職員による率先垂範

「規範意識の醸成」



- ・「学び方スタンダード」の徹底
- ・児童主体の「なんようしくさ」の推進

「心の教育の充実」



- ・「なめよし組」活動による異学年交流の実施
- ・QJ 調査を活用した、心の教育の取組

「特別支援教育・教育相談の充実」



- ・ユニバーサルデザインの教室環境
- ・「ことばときこえの教室」の運営

元気な子【体：逞しさ】

○強い心や気持ちで粘り強く取り組む子

○運動に親しみ健康を意識する子

「体力向上を図る取組」



- ・体育授業の充実
- ・外部講師による出前授業の実施
- ・自尊感情、自己肯定感を高める学習活動の工夫



- ・短縄月間、マラソン月間
- ・KOTO★キッズながわチャレンジ

「心とからだの健康づくり」



- ・栄養士による食育指導の充実
- ・スクールカウンセラーによるカウンセリングの充実



- ・不審者対応訓練の充実
- ・情報モラル教育の充実
- ・PTA と連携した見守り活動の実施

教育目標を達成するための基本方針

【ひとりの子ども】

- ・豊かな感性を育みながら、子どものよさや可能性を引き出す。
- ・人生の三原則や学びの三原則の徹底。「人として」あるべき姿の体現。
- ・いじめのない帰属意識がもてる集団づくり。ふれあい月間の充実。

【一コマの授業】

- ・「主体的に学ぶ授業」、「学び合う・響き合う授業」の実現。
- ・こうとう学びスタンダードの指導の徹底。
- ・「わかる、かかわる、できる」喜びを感じられる惹きつける授業づくり。

【ひとつのコミュニティ】

- ・異学年交流や地域の方々との交流を生かした教育活動の推進。
- ・関係諸機関との連携を深め、特別支援教育の充実を図る。
- ・保護者や地域との連携・協力を通して、豊かで多様な学びの実現。
- ・江東区の自然や文化施設を活用し、「ふるさと南陽」を愛する子どもを育てる。

江東区立川南小学校

住所 〒135-0015 江東区千石2-9-12

電話 03-3647-0574

FAX 03-5690-4015

校長 前田 真一

副校長 幾島 美香

教職員数 26名



5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	76	76	64	74	85	77	452
学級数	3	3	2	3	3	3	17



◇学校案内図



◇交通機関

○東京メトロ東西線「東陽町」より

都営バス(東22)錦糸町行「千田」下車 徒歩2分

○JR 総武線「錦糸町」より

都営バス(東22)東陽町行「千田」下車 徒歩2分

○都営地下鉄新宿線「住吉」より

都営バス(東22)東陽町行「千田」下車 徒歩2分

◇目指す学校像

みんなが幸せになれる学校

◇目指す児童像

『かがやけ川南!』

～自分のことが好きになれることも～

1 進んで学び くふうする子

○自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応できる児童を育成する。

2 豊かな心をもち 助け合う子

○自分を見つめ、他を思いやる心情、礼儀正しい態度や規範意識を身に付け、地域社会の形成者としての資質を育成する。

3 体をきたえ やりぬく子

○困難なことに出会っても課題を乗り越え、たくましく挑戦し続ける力を育成する。

『対話』を大切にする「チーム川南」

こどもを真ん中に【人】と【学び】をつなげていく

○こども一人一人が認められ、大切にされるとともに、自ら学びに向かい、次の学びへの意欲を育む、『人と学びがつながる学校』

○「全てはこどもたちのために」の意識と課題意識を常にもち、よりよいことを追求し、全職員で協働して共に『組織的に取り組む学校』

○保護者が「この学校に通わせてよかった」と思え、ともに「共育」しようとする『安心・信頼される学校』

○地域の方々にとって、誇りをもって応援し続けようと思える『地域に愛される学校』

1 確かな学びの充実

(1) こどもの「分かった」「できた」「もっとやりたい」が数多くある授業を展開し、学ぶ意欲を高める。

(2) 「学び方スタンダード」を徹底し、「読む力・書く力・伝える力」を定着させる。

(3) 児童相互の学び合いを通して、自分の考えを多様な方法で表現させ、「主体的・対話的で深い学び」を充実させる。

2 豊かな心の育成

(1) 「特別の教科 道徳」では、日常の授業において「考え、議論する」道徳科の実践を重ね、教育活動全体を通して、児童一人一人の道徳的実践力を育む。

(2) 保幼小中及び近隣施設との交流、地域の方々と連携した学びの推進など、特色ある教育活動を充実させるとともに、スクールカウンセラーや学習支援員、特別支援教室、関係諸機関と連携した指導体制を強化する。

(3) 基本的生活習慣の定着を図る。

3 健やかな心と体の育成

(1) 運動の日常化と健康教育等を通して、基礎体力の向上を図る。

(2) 児童が進んで運動に取り組む環境整備を図る。

(3) 健康教育・食育を推進する。

江東区立扇橋小学校

住所 〒135-0014 江東区石島18-5
電話 03-3647-0571
FAX 03-5690-4016
URL <https://ougibashi-sho.koto.ed.jp>

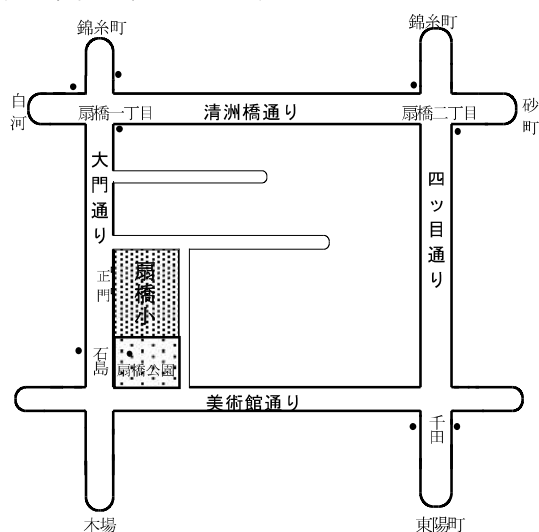


校長 松澤 雄一
副校長 矢作 創子
教職員数 37名

(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	125	159	131	129	106	124	774
学級数	4	5	4	4	3	4	24

◇ 交通案内図 ◇



◇ 交通機関 ◇

- JR 錦糸町駅より都営バス **錦13** 「石島」下車1分
- JR 錦糸町駅より都営バス **東22** 「千田」下車5分
- 東京メトロ東西線東陽町駅より都営バス **東22** 「千田」下車
- JR 秋葉原駅より都営バス **秋26** 「扇橋1丁目」下車3分

◇ 沿革 ◇

明治37年1月23日、
東京市扇橋尋常小学校として創立。
数々の輝かしい歴史を刻みながら、
本年度、創立123周年を迎える
地域・保護者と共にある伝統校です。



◇ 教育目標 ◇

- 自主 ・よく考えすすんでやりぬく子
- 健康 ・元気で明るい子
- 友愛 ・なかよく助け合う子

よく考えすすんでやりぬく子

学力の定着・向上

- 授業や家庭学習にICT機器を活用し、児童の学習意欲を高め、主体的な学習を進めます。
- 児童の思考力・判断力・表現力を育てるため、「こうとう学びスタンダード(ネクストステージ)」を基軸に、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を行います。

元気で明るい子

健康・体力の向上

- 短縄・長縄・持久走等の取組を計画的に行い、児童の体力の向上を図ります。
- 体育指導の工夫や休み時間の外遊びの推奨により、体を動かすことの楽しさを児童に味わわせます。

なかよく助け合う子

心の健全育成

- 「気持ちのよい挨拶」「丁寧な言葉遣い」を生活指導の重点目標とし、一人一人を大切にしている学校を目指します。
- 「自他の良さに気付く」「違いを認め合える」「自己肯定感をもつ」をキーワードに、人権教育と道徳教育を充実させます。

地域学校協働本部(通称:ビスケット)との連携

*保護者や地域の方が中心になって活動しています。

「微」=小さなことから 「助っ人」=お手伝いを! という思いから「ビスケット」という愛称でこどもたちのために活動してくれています。

- ブックさんによる朝の読み聞かせ
- 図書ボランティアによる本の補修や修理
- お花ボランティアによるフラワーロードやど根性ひまわりの世話
- 父の会による休日の公園清掃

江東区立元加賀小学校

住所 〒135-0021 江東区白河 4-3-19

電話 03-3641-0601

FAX 03-3642-5795

URL <https://motokaga-sho.koto.ed.jp/>

校長 小林 英忠

副校長 大塩 由美子

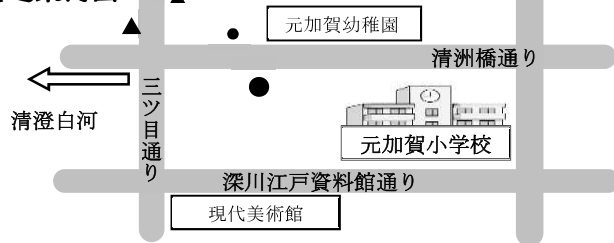
教職員数 36名

(5月1日現在)



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
児童数	101	131	105	110	110	133	20	710
学級数	3	4	3	4	4	4	3	25

◇交通案内図



◇沿革



明治40年11月9日、元加賀15番地に東京市元加賀尋常小学校として開校。
関東大震災・東京大空襲を経て、昭和22年4月1日に現在の校名に変更した。今年度は開校119周年にあたる。

◇交通機関

◎都営地下鉄新宿線「菊川駅」下車 徒歩10分

◎都営地下鉄大江戸線・東京メトロ半蔵門「清澄白河駅」下車 徒歩8分

◎都営バス ●印：秋26系統「白河」バス停下車徒歩3分 ▲印：業10系統「白河」バス停下車 徒歩5分

もっと かがやく もとかが

〈教育目標〉

- よく考える子：すすんで考え、課題に最後まで取り組み実践する態度の育成
- ◎思いやりのある子：自他を大切にし、互いに思いやり、協力して生活する態度の育成
- 体をきたえる子：心身ともに健康でたくましく、すすんで健康の保持増進に努める態度の育成

よく考える子

確かな学力の定着

- カウンセリングマインドに基づき、児童に寄り添い、考えを引き出し、自己決定を促す（ファシリテートする）教育活動を展開します。
- 「学び方スタンダード」「元加賀生活スタンダード」により、学習習慣、授業規律の確立を目指します。
- 個に応じた指導を充実させ、基礎・基本の定着を図ります。
- 教科横断的なカリキュラム・マネジメントを行い、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養います。
- 常にPDCAサイクルによる教育活動の評価を行い、授業改善を図ります。

思いやりのある子

豊かな心の育成

- 人権尊重と多様性の受容を基に、関わる全ての人を大切にする学校にするため、人権感覚を育み、適切な言語環境を整えます。
- 良好な人間関係をつくるため、すすんで適切な挨拶、返事ができるよう全校での取組を行います。
- 道徳教育を計画的・発展的にを行い、「豊かな人間性」を養います。
- 様々な集団活動に主体的に取り組み、望ましい人間関係を築き、社会参画への態度を養います。
- 1人1台端末（Chromebook）を適切に使えるよう、情報リテラシー・モラルの向上を図ります。
- ふるさと元加賀に対する郷土愛を育成するため、地域の教材化、地域人材の活用を図ります。

体をきたえる子

たくましく生きる力の充実

- 健康・体力を増進するために、体育授業の改善・充実を行い「体力スタンダード」の定着を図ります。また、外遊びを奨励します。
- 自分の体を守る知識・習慣を身に付けさせるため、「アウトメディアデー」の取り組みや「SNSルール」の遵守などを、家庭と連携して行います。
- こどもたちの様々な問題を早期発見、早期対応するため、教職員間、スクールカウンセラー、外部機関等との連携を密にとり、教育相談機能を充実させます。